



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます



# 保健福祉システム部会

## 2018年度業務報告会

# 部会活動状況

2019年 2月22日

部会長 藤岡 宏一郎

# 1. 国の政策動向

# 2. 保健福祉システム部会の体制

# 3. 2018年度の取り組み状況

# 4. 2019年度の取り組み方針

# 1. 国の政策動向

## ◆ 医療を取り巻く環境の変化

- 世界に先駆けて超高齢社会に突入  
(65歳以上の人口割合は2025年に約30%、2060年には約40%に)
- 疾病構造の変化 (課題は単一標的型疾患から、多因子関連型疾患へ)
- 医療者の働き方改革 (業務効率化、生産性の向上、タスク・シフティング)

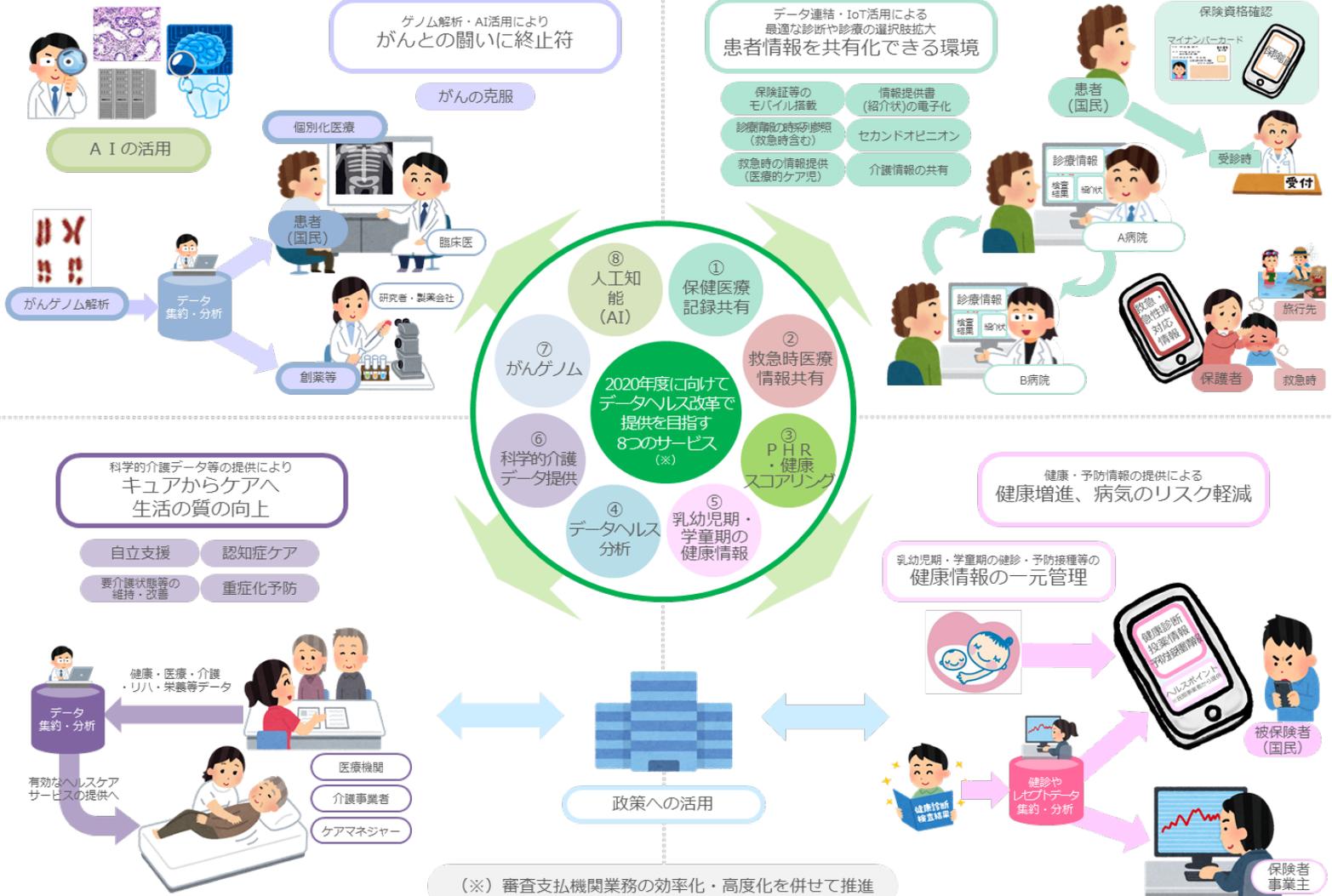
## ◆ 国の施策

(世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画、未来投資戦略2018)

### 次世代ヘルスケア・システムの構築

- ICTの推進 (全国的な保健医療情報ネットワーク、AIホスピタル等)
- データ利活用基盤の構築 (健康・医療・介護のビックデータの連結・活用、PHR)
- 改正個人情報保護法 (要配慮個人情報として保護)
- 次世代医療基盤法 (匿名加工医療情報、事業者認定制度の整備)
- 官民データ活用推進基本法 (データ利活用の推進、デジタルファースト法案の検討)

## 健康寿命延伸に向けたデータヘルス改革



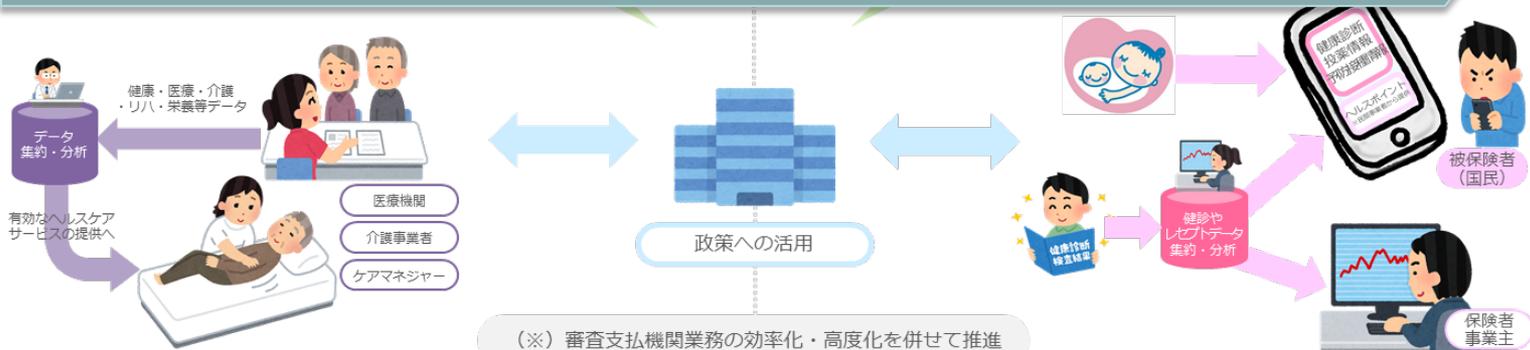
(※) 審査支払機関業務の効率化・高度化を併せて推進

## 健康寿命延伸に向けたデータヘルス改革



データヘルス改革の8つのサービスで

- 健康寿命の更なる延伸
- 効果的・効率的な医療・介護サービスの提供



(※) 審査支払機関業務の効率化・高度化を併せて推進

## 2. 保健福祉システム部会の体制



## 保健福祉システム部会

部会長 **藤岡 宏一郎**(日立製作所)

副部会長 **松谷 正俊**(NTTデータ)

副部会長 **岩井 俊介**  
(キャノンメディカルシステムズ)

副部会長 **岡田 明**(EMシステムズ)

運営幹事 **松原 修**(日立製作所)  
※保健福祉システム担当

事務局部長 **中村 斉**

## 地域医療システム委員会

委員長 **田中 良樹** (富士通)

副委員長 **濱島 健一** (NTTデータ)

副委員長 **安田 典弘** (日本電気)

副委員長 **北山 健児** (富士通)

### 医療介護連携WG

リーダ **光城 元博** (日立製作所)

### 地域医療連携IHE-ITI検討WG

リーダ **足立 重平** (日本電気)

### 地域医療連携画像検討WG

リーダ **北山 健児** (富士通)

### 地域医療連携診療文書標準化WG

リーダ **濱島 健一** (NTTデータ)

## 健康支援システム委員会

委員長 鹿妻 洋之(オムロンヘルスケア)  
副委員長 井上 裕之 (NTTデータ)

## 健康情報技術WG

リーダー 井上 裕之 (NTTデータ)

## データ分析・活用モデル検討WG

リーダー 岩田 淳也 (日立製作所)

## JAHIS-日本HL7協会合同 健康診断結果報告書規格WG

リーダー 井上 裕之 (NTTデータ)

## 福祉システム委員会

委員長 金本 昭彦 (日本コンピューター)

副委員長 今井 敏彦 (日本電気)

副委員長 川崎 英樹 (日立製作所)

副委員長 坂崎 光章 (富士通)

### 介護保険事務処理システムWG

リーダ 田中 卓 (富士通)

### 後期高齢者WG

リーダ 岩田 孝一 (日本電気)

### 障害者総合支援WG

リーダ 福田 佳孝 (富士通)

### 介護事業者連携WG

リーダ 鴻谷 則和 (日立システムズ)

### 子ども子育て支援WG

リーダ 河野 大輔 (富士通)

### 国保都道府県化WG

リーダ 大村 周久 (富士通)

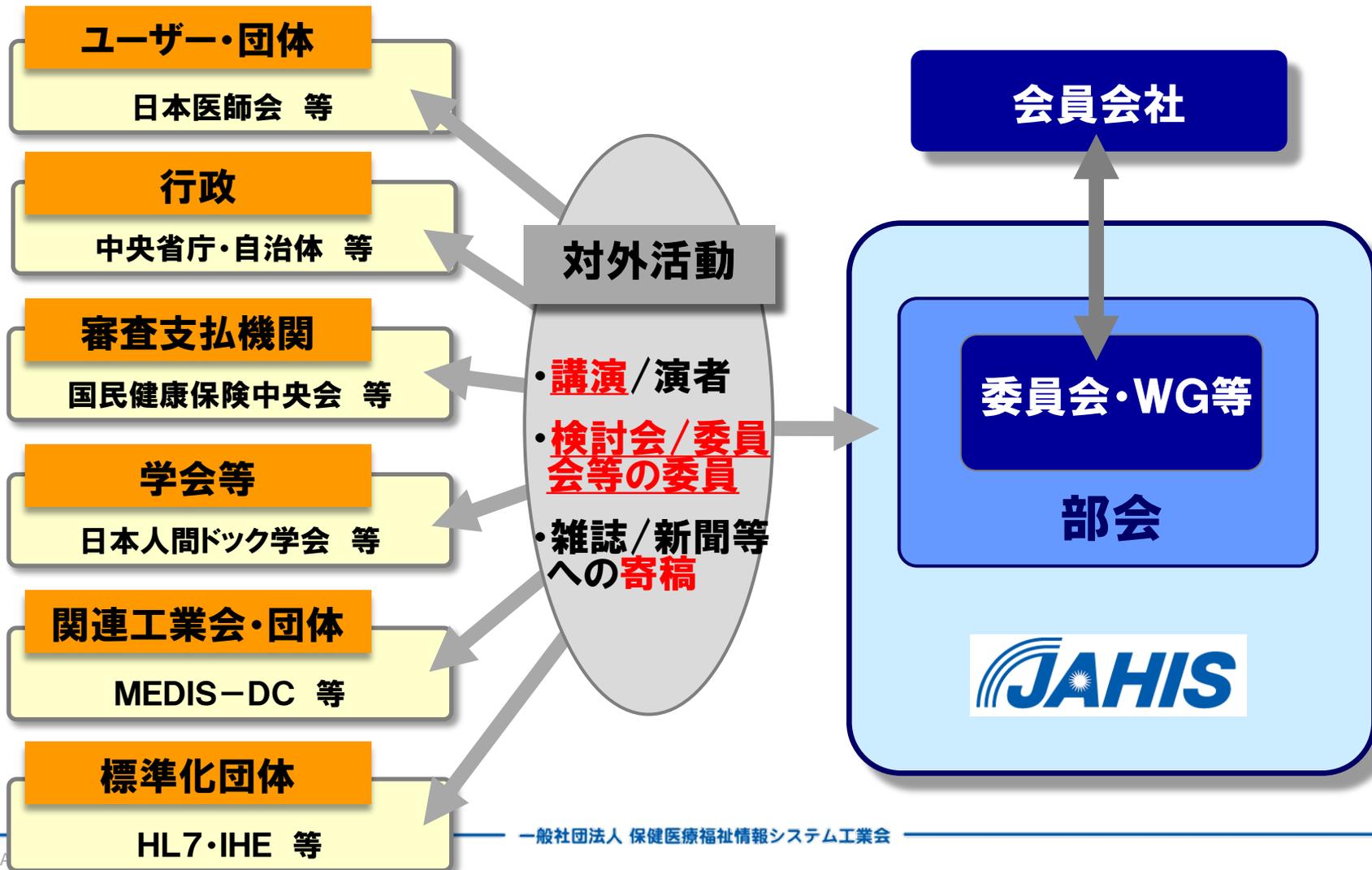
### 保健衛生WG

リーダ 名取 剛 (日本コンピューター)

## 3. 2018年度の取り組み状況

- (1) 個人・患者単位で最適な健康管理・診療・ケアを提供するための基盤として
  - ・ **「全国保健医療情報ネットワーク」**を活用した地域の保健・医療・福祉・介護の連携、施設間や多職種間での連携データの標準化・普及、PHR等の実現
  - ・ **関係省庁事業への参加や行政機関、関係団体への積極的な提言を実施し、業界のビジネスの創出を図る**
  
- (2) **「保健医療データプラットフォーム」**及び保健医療ビッグデータ活用推進に向けて
  - ・ **関係機関・団体と連携し検討会等に委員を派遣する等、各種健診関連システムの普及やデータヘルス計画の効果的な実施に資する活動・提言を実施**
  - ・ **ヘルスソフトウェア、ビッグデータ分析、PHRの活用等に関連した調査や提言を行い、健康情報活用ビジネスの創出・拡大**
  
- (3) 現在検討が進められている**新被保険者番号、オンライン資格確認等**を活用
  - ・ **新たな保健医療サービスについて、関係機関と連携を図り、情報システム分野の専門家として効率的なシステム構想を提言していく**
  
- (4) JAHIS他部門の委員会等との連携

保健福祉システム部会では、国の制度変更に対応した新たな実証事業、検討会等に参画するとともに、各種セミナー・講演会・勉強会等を開催し会員への情報提供を実施



## ■独立行政法人 福祉医療機構

「WAMNET事業推進専門委員会」への委員委嘱

## ■厚生労働省

- ・「保険者による健診・保健指導等に関する検討会実務担当者による特定健診・特定保健指導に関するWG」への委員派遣
- ・「介護のシゴト魅力向上懇談会」への委員派遣
- ・「データヘルス時代の母子保健情報の利活用に関する検討会」への委員派遣

## ■三菱総合研究所

- ・「医療・介護連携WG」への委員派遣
- ・「介護事業所におけるICTを活用した情報連携に関する調査研究事業」への委員推薦

## ■経済産業省

- ・「健康・医療情報の利活用に向けた民間投資の促進に関する研究会(ヘルスケアIT研究会)」への委員派遣

## ■国民健康保険中央会

- ・「障害者総合支援事務処理システム検討会」への委員派遣
- ・「介護保険事務処理システム検討会」への委員派遣
- ・「障害者総合支援審査事務研究会」への委員派遣

## ■日本HL7協会

- ・「健康診断結果報告書規格検討会議」への委員派遣
- ・「第65回HL7セミナー」「第68回HL7セミナー」への講師派遣

## ■その他

- ・ 関西学院大学  
人間福祉学部講義「人間福祉情報論」へのゲストスピーカー
- ・ (株)へるす出版  
「在宅新療0-100」2018年9月号への寄稿
- ・ (株)日本看護協会出版会  
「ICTで訪問看護がこう変わる」(全国訪問看護事業協会偏)

## ■標準類・技術文書

- ・ 健康診断結果報告書規格 Ver.2.0  
【健康支援システム委員会】
- ・ 技術文書(09-101、09-102、09-103、13-101)廃止  
【地域医療システム委員会】

## 4. 2019年度の取り組み方針

- ◆ **被保険者証の個人単位化、オンライン資格確認等を活用した新たな保健医療サービスについて、専門家として提言していく。**
- ◆ **「全国保健医療情報ネットワーク」を活用した地域の保健・医療・福祉・介護の連携、施設間や多職種間での連携データの標準化・普及、PHR等の実現に向け、業界のビジネスの創出を図る。**
- ◆ **保健医療ビッグデータ活用推進に向けデータヘルス計画の実施に資する活動と、健康情報活用ビジネスの創出・拡大を図る。**
- ◆ **幼稚園、保育所等の費用無償化に加え、児童手当、児童扶養手当、障害児福祉サービス等の子どものための教育給付について、情報システム分野の専門家として積極的に提言していく。**

- **行政機関、関係団体への情報システム分野の専門家として提言**
- **情報収集に基づく会員へのタイムリーな情報提供**



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

**ご静聴、誠に有難うございました。**

**今後とも保健福祉システム部会へのご支援をよろしくお願い致します。**



## ■ 独立行政法人 福祉医療機構 / 「WAMNET事業推進専門委員会」への委員委嘱

対応期間: 2018年4月～2020年3月

対応内容: 独立行政法人福祉医療機構が手掛ける「WAMNET」のサイト運営に関する事業の取り組みを第三者機関として専門委員会を開催し、その評価を行う。

対応者 : 金本委員長(福祉システム委員会)

## ■ 厚生労働省 / 「保険者による健診・保健指導等に関する検討会 実務担当者による特定健診・特定保健指導に関するWG」への委員派遣

対応期間: 2011年12月～

対応内容: 保険者による健診・保健指導等に関する検討会の議論を踏まえ、実務的な検討が必要な事項について、WGにて検討を行い、本委員会へ報告する。

対応者 : 鹿妻委員長 井上副委員長 (健康支援システム委員会)

## ■厚生労働省／「介護のシゴト魅力向上懇談会」への委員派遣

対応期間：2018年4月～2019年3月

対応内容：介護の仕事や職場の魅力向上を更に進めるため、業務プロセスの改善とテクノロジー(介護ロボット・ICT等)の活用による業務負担の軽減、生産性の向上等について、先進的な現場の実践を踏まえた議論を行う。

対応者：金本委員長(福祉システム委員会) 他1名

## ■厚生労働省／「データヘルス時代の母子保健情報の利活用に関する検討会」への委員派遣

対応期間：2018年4月～7月

対応内容：健診結果や予防接種履歴等の情報を、識別子等を活用して連結し、ビッグデータとして活用できるようにする。

対応者：井上副委員長(健康支援システム委員会)

## ■三菱総合研究所／「医療・介護連携WG」への委員派遣

対応期間：2018年8月～2019年3月

対応内容：全国的な保健医療プラットフォーム構築によりデータを利活用し、根拠に基づいた健康・医療・介護の施策が推進される社会の実現を目指す為、工業会から意見具申を行う

対応者：光城WGリーダ(医療介護連携WG)

## ■三菱総合研究所／「介護事業所におけるICTを活用した情報連携に関する調査研究事業」への委員推薦

対応期間：2018年11月～2019年3月

対応内容：①居宅介護事業所間における情報連携に伴う業務効率化

(生産性向上)検証と課題、今後の在り方について検討する。

②介護事業所が今後求められる情報セキュリティ等の在り方についても検討する。

対応者：金本委員長(福祉システム委員会) 他1名

## ■ 経済産業省／「健康・医療情報の利活用に向けた民間投資の促進に関する研究会(ヘルスケアIT研究会)」への委員派遣

対応期間：2018年8月～2019年3月

対応内容：経済産業省におけるヘルスケア政策の中核を議論する会合において、医療・健康情報を取り扱うベンダー、標準化団体等の視点で意見を述べる。

対応者：鹿妻委員長(健康支援システム委員会)

## ■ 国民健康保険中央会／「障害者総合支援事務処理システム検討会」への委員派遣

対応期間：2018年10月～2020年9月

対応内容：①障害者総合支援法に基づく自立支援給付にかかる事務処理に関する検討

②事務処理システムの標準的仕様についての検討

③その他、事務処理の運用に関し必要となる検討

対応者：金本委員長(福祉システム委員会) 他7名

## ■国民健康保険中央会／「介護保険事務処理システム検討会」への委員派遣

対応期間：2017年2月～2018年9月

対応内容：国民健康保険中央会(中央会)に設置される検討会に参加する。

- ①介護保険法に基づく制度改正にかかる事務処理に関する検討
- ②事務処理システムの標準的仕様についての検討
- ③その他、事務処理の運用に関し必要となる検討

対応者：金本委員長(福祉システム委員会) 他9名

## ■国民健康保険中央会／「障害者総合支援審査事務研究会」への委員派遣

対応期間：2018年4月～2019年3月

対応内容：障害者総合支援法並びに児童福祉法の改正法が成立。2015年12月の社会保障審議会・障害者部会からの提言を踏まえ、審査支援機能の強化に向けて市町村等における審査事務の現状等を確認する。また、給付費の審査をより効果的・効率的に実施できるよう、審査事務について当研究会で検討する。

対応者：金本委員長(福祉システム委員会)

## ■日本HL7協会／「健康診断結果報告書規格検討会議」への委員派遣

対応期間：2017年5月～

対応内容：「健康診断結果報告書規格V1.0」が、JAHISおよび日本HL7協会の標準規格として制定（2015年3月）された。

「特定健診情報ファイル仕様説明書」VerUPに伴い、更新検討を行う

対応者：鹿妻委員長（健康支援システム委員会）  
井上WGリーダー（健康情報技術WG）他

## ■日本HL7協会／「第65回HL7セミナー」「第68回HL7セミナー」への講師派遣

対応期間：2018年4月(第65回)、11月(第68回)

対応内容：(第65回) システム開発者向けのCDA標準についての解説  
およびCDA標準をシステム開発者向けのCDA標準についての解説  
(第68回) 「JAHIS地域医療連携における経過記録構造化記述規約  
Ver.1.0」の概要紹介

対応者： 矢原WGサブリーダー(地域医療連携診療文書標準化WG)

## ■関西学院大学／人間福祉学部講義「人間福祉情報論」へのゲストスピーカー

対応期間：2018年12月

対応内容：人間福祉学部の講義「人間福祉情報論」にて、ゲストスピーカー(講師)として参加し、介護・福祉とICT等について講演を行う。

対応者： 金本委員長(福祉システム委員会)

## ■(株)へるす出版／「在宅新療0-100」2018年9月号への 寄稿

対応期間:2018年7月

対応内容:特集「ICTで拓く!地域包括ケア」の企画において、JAHISに対して  
医療介護連携ICT普及推進と標準化に関する執筆の依頼。

対応者 : 光城WGリーダー(医療介護連携WG)

## ■(株)日本看護協会出版会／「ICTで訪問看護がこう変わる」(全 国訪問看護事業協会偏)

対応期間:2018年8月

対応内容:JAHISに対して、在宅ケア領域におけるICT活用の展望(システムの  
互換性の課題、標準化の動向、訪問看護ステーションで準備すること等)  
に関する執筆の依頼。

対応者 : 光城WGリーダー(医療介護連携WG)

## 【健康支援システム委員会】

### 健康診断結果報告書規格 Ver.2.0

#### → JAHIS標準

「健康診断結果報告書規格Ver.1.0」が、JAHISおよび日本HL7協会の標準規格として制定(2015年3月)された。その後の「特定健診情報ファイル仕様説明書 Version2→3」と、「JAHIS診療文書構造化記述規約共通編」準拠に伴う改定。

・2019年2月制定(JAHIS標準 18-007)

## 【地域医療システム委員会】

### 技術文書(09-101、09-102、09-103、13-101)の廃止

#### → JAHIS技術文書

「17-107 JAHIS IHE-ITIを用いた医療情報連携基盤実装ガイド本編 Ver.3.1」に統合・最新化を図ったため廃止。

・国内標準化委員会(1/8)審議にて旧版とする。